大和都市計画道路の変更(生駒市決定)

都市計画道路3・4・207号駅西線を都市計画道路3・5・215号上町芝線に名称を改め、次のように変更する。

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・5・215	かみまちしぼたん 上町芝線	いごまし 生駒市 きたやまと4ちようめ 北大和4丁目	いごまし 生駒市 かみまち 上町	いごまし 生駒市 たかやまちよう 高山町	約 1,300m	地表式	2車線	15m	幹線街路と平面交差4ヶ所	起点変更 一部路線変更
		なお支線	いごまし 生駒市 かみまち 上町	いごまし 生駒市 かみまち 上町		約 90m	地表式	2車線	12m		
	<small>いごまし かみまち</small> なお、生駒市上町内に学研北生駒駅前広場約 2,700 m ² を設ける。										

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

理由

別添理由書のとおり

都市計画道路 上町芝線の変更理由書

1. 関西文化学術研究都市「学研高山地区」及び「学研北生駒駅北地区」の概要

学研高山地区第2工区(約288ha)は、人口計画2万3千人の住宅開発を行うものとして、平成12年に土地区画整理事業の都市計画決定、平成14年に都市計画道路の都市計画決定を行いました。社会経済情勢等により長らく事業化には至っていない。

その後、令和3年6月に策定した生駒市都市計画マスタープランにおいて、学研高山地区を産業・学術研究拠点として位置付け、従来の住機能中心の土地利用から、基礎研究から研究開発、生産に至る各産業施設の立地など、イノベーション創出の基盤となる都市の多様性と機能連携を高める「多機能複合市街地」としての土地利用へ転換する方針とし、以降、工区を分割した段階的な土地区画整理事業によるまちづくりに向け、事業推進しているところである。

学研北生駒駅北地区(約6.5ha)は、本市北部地域の地域拠点として、また、学研高山地区の玄関口として、地域の顔となり身近な生活や交流を支援する機能が集約された拠点形成を図る旨、本市都市計画マスタープランに位置付けている地区であり、組合施行による土地区画整理事業が予定されている。

2. 路線の概要

(都)駅西線((都)都市計画道路の略)は、(都)高山南北線を起点とし、主要地方道枚方大和郡山線を終点とする地区内幹線道路として、平成14年8月に都市計画決定されたものである。

3. 都市計画道路変更の内容

(1)変更の理由

(都)高山南北線の都市計画変更に伴う、学研高山地区から学研北生駒駅までのアクセス確保と、学研北生駒駅北地区の地域拠点整備、(都)真弓芝線への交通量負荷低減のため。

(2)変更の内容

- ・起点を(都)高山南北線から(都)国道163号バイパス線に変更し、区間延長、幅員を変更
- ・路線の名称を「3・4・207号駅西線」から「3・5・215号上町芝線」に変更
- ・(都)上町芝線に学研北生駒駅に通じる支線及び駅前広場を設ける。